

日本スマートフォンセキュリティフォーラム ご紹介

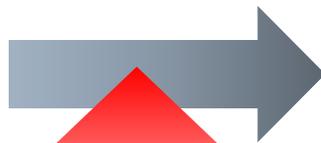
2011年6月16日



<http://www.jssec.org/>

セキュリティを担保した運用の確保

個人を中心に急激に普及するスマートフォンやタブレット型端末。(以降スマートフォン)企業や団体でも、業務効率化・生産性向上、ならびに新しい事業基盤の中核ツールとして、大きく期待されています。

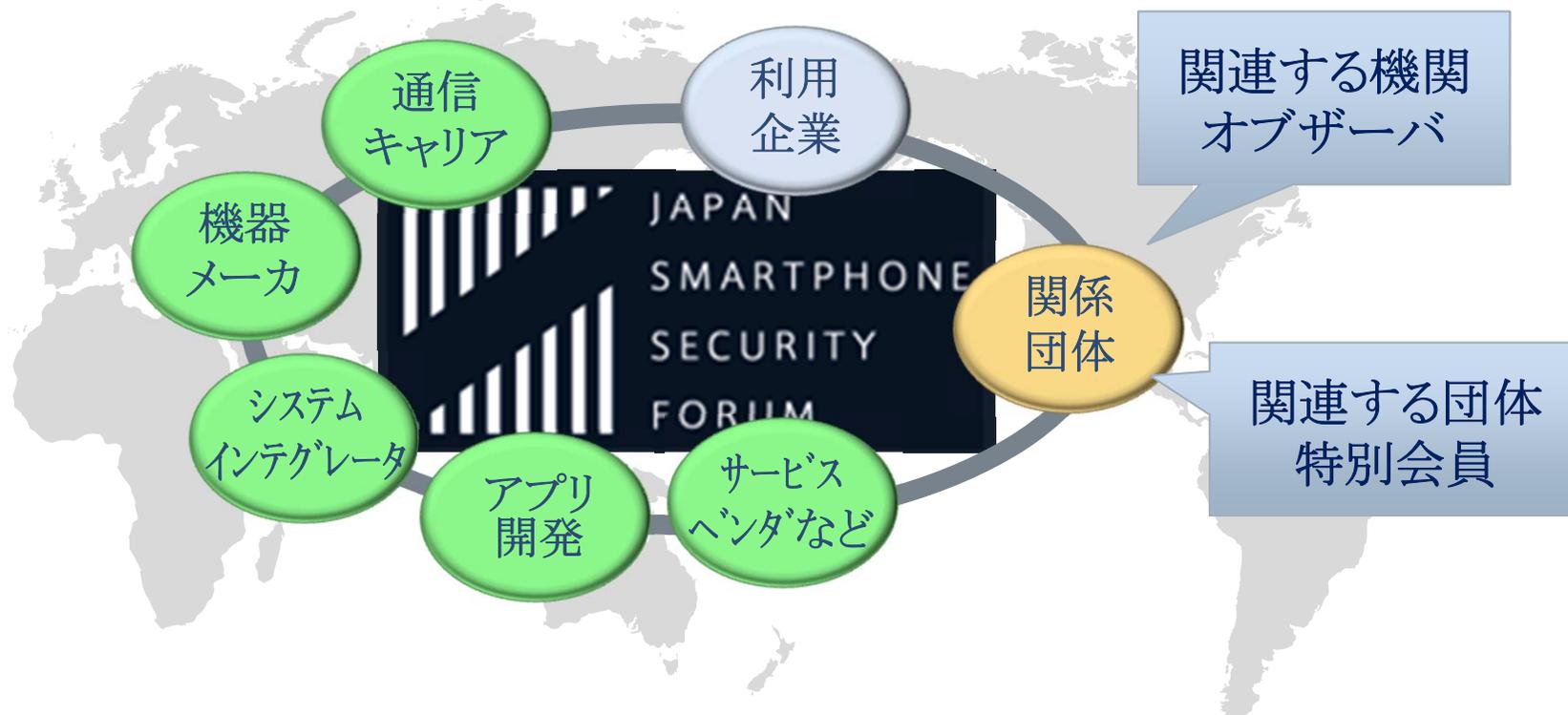


ところが、不適切な利用やセキュリティ上の不備、悪意ある行為などにより利用者・事業者へ悪影響などを警戒するあまり、成長の機会を逸する危険性



解決には、業界を横断した協調が必要

急激に普及するスマートフォンの安全な利活用を図るため、関連する様々な分野の企業や団体が協調して取り組むことが重要



日本スマートフォンセキュリティフォーラム(JSSEC)

目的・活動内容

目的

1. 企業・団体における利用者が安心して高度なサービスを受けられるようにする。
2. 実装すべきセキュリティレベルの理解を社会に浸透させ、提供者が安心して事業推進を行えるようにする。
3. 利用者のセキュリティリテラシー向上のための活動も行い、さらに高度なサービスを受けられるようにする。
4. セキュリティを切り口とした「信頼できるニッポン！」を確立しグローバル市場へアピールする。

活動内容

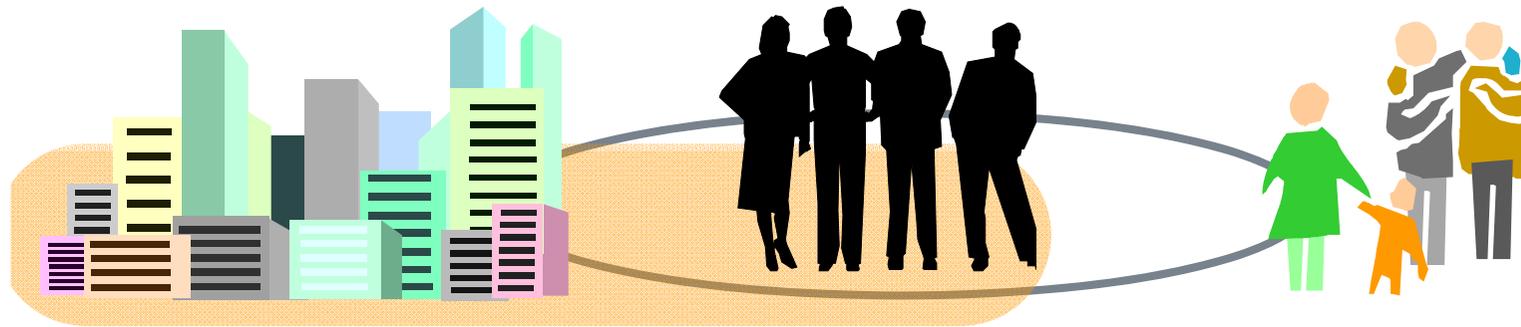
参加メンバー間で、スマートフォンに関するセキュリティ上の課題を共有するとともに、解決策を検討、その結果および成果物を公開し、関係者の成長に寄与します。

対象範囲

企業・団体

従業員

個人・家庭



対象範囲

JSSECの活動対象は企業・団体とその従業員や職員ですが、その成果は一般利用者にも応用可能です。

会員

幹事会員

本団体の運営及び活動に参画

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
株式会社インフォセック
NRIセキュアテクノロジーズ株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ
株式会社カスペルスキー
KDDI株式会社
サイバーソリューションズ株式会社
サイバートラスト株式会社
株式会社シーイーシーソリューションズ
シスコシステムズ合同会社
株式会社シマンテック
シャープ株式会社
ソニーデジタルネットワーク
アプリケーションズ株式会社
ソフトバンクモバイル株式会社
株式会社ソリトンシステムズ
株式会社ディアイティ
トレンドマイクロ株式会社
株式会社ネクストジェン
株式会社日立情報システムズ
富士ソフト株式会社
マカフィー株式会社
株式会社ラック

2011年6月14日現在 22社

正会員

本団体の活動に参画

株式会社RSP
株式会社ACCESS
合同会社アビニシオ・リサーチ
アルパネットワークス株式会社
アルプスシステム
インテグレーション株式会社
株式会社アンラボ
株式会社イーグリッド
イノバソフトウェア株式会社
インサイトインターナショナル株式会社
株式会社インターナショナル・
ストラテジック・リーダーズ
ウィアー・エンジニアリング株式会社
株式会社ウェブレッジ
株式会社A3セキュリティ
NECネッツエスアイ株式会社
NHN Japan株式会社
株式会社NSD
エヌ・ティ・ティ・
コミュニケーションズ株式会社
株式会社NTTデータMSE
エヌ・ティ・ティ・データ・
セキュリティ株式会社
エレコム株式会社
グローバルセキュリティ
エキスパート株式会社
株式会社KBIZ
株式会社ゲネシスコンマーズ
サムスン電子株式会社
GMOグローバルサイン株式会社
ジュニパーネットワークス株式会社
一般社団法人
情報セキュリティ相談センター
新日本無線株式会社
セコムトラストシステムズ株式会社
ソニー・エリクソン・モバイル
コミュニケーションズ株式会社
ソフトバンク・テクノロジー株式会社
大日本印刷株式会社
株式会社大和総研ビジネス・
イノベーション
チェック・ポイント・ソフトウェア・
テクノロジーズ株式会社
株式会社ディー・ディー・エス
デジタルアーツ株式会社
株式会社Doctor Web Pacific
ドコモ・システムズ株式会社
凸版印刷株式会社
トヨタ自動車株式会社
株式会社ナバヨアジア
日本CA株式会社
日本ペリサイン株式会社
日本ユニシス株式会社
株式会社ネットマークス
ミナムジャパン株式会社
伯東株式会社
株式会社バリューエンジン
株式会社日立製作所
ファルコンシステム
コンサルティング株式会社
フォーティネットジャパン株式会社
フォーマルハウテクノソリューションズ
株式会社富士通四国システムズ
株式会社富士通ソーシアル
サイエンスラボラトリ
富士通東芝モバイル
コミュニケーションズ株式会社
株式会社富士通ビー・エス・シー
株式会社ブランコ・ジャパン
ベライゾン ビジネス
丸紅OKIネットワークソリューションズ株式会社
株式会社ユーエヌアイ研究所
ユニアデックス株式会社
リアルコム株式会社

2011年6月14日現在 62社

特別会員

理事会にて承認された
団体または個人

Androidセキュリティ部
一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会
(CIAJ)
データベース・セキュリティ・コンソーシアム
(DBSC)
NPO 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)

2011年6月14日現在 4社

オブザーバ

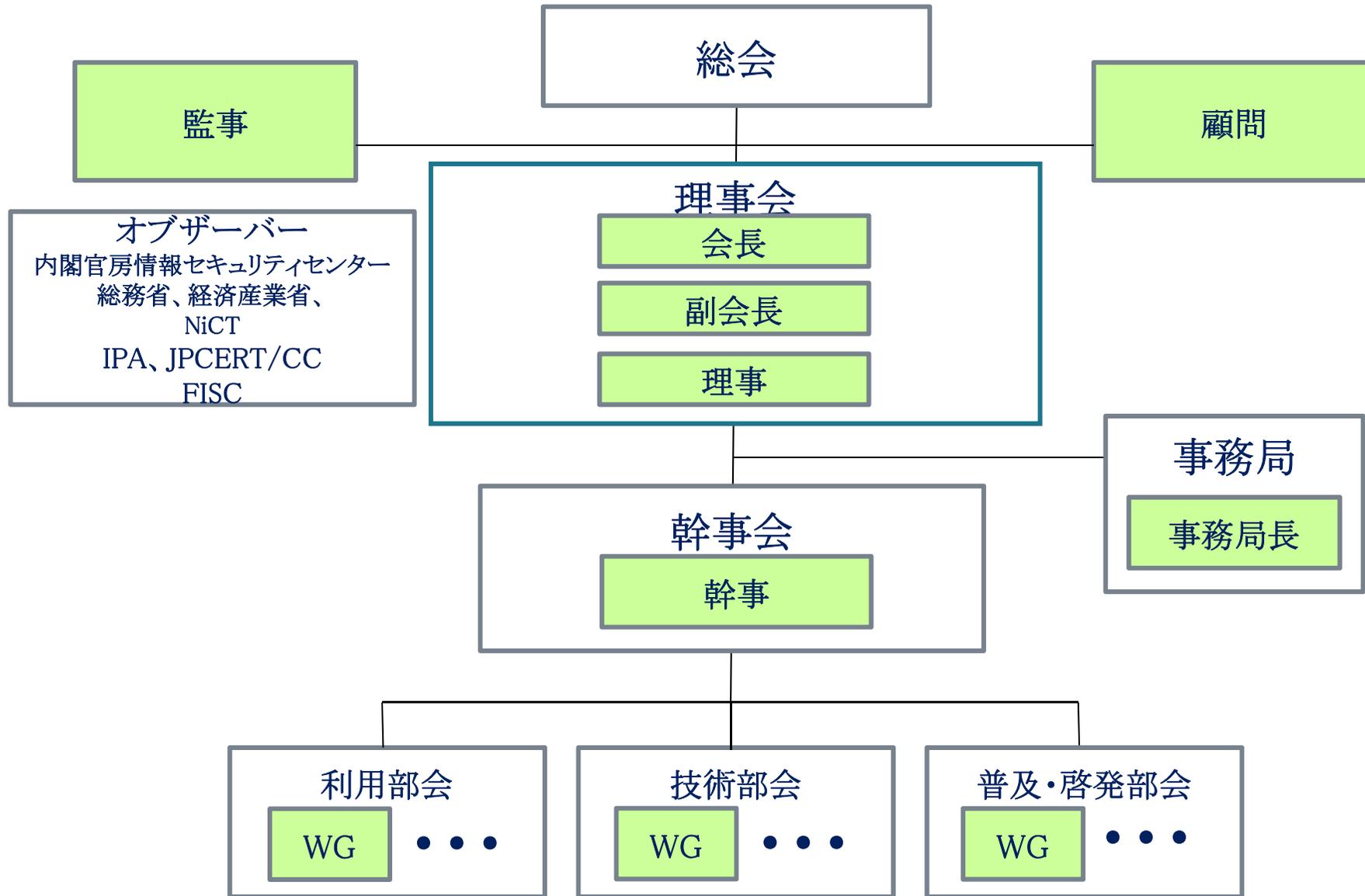
内閣官房情報セキュリティセンター (NISC)
総務省
経済産業省
独立行政法人情報通信研究機構 (NICT)
独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)
一般社団法人JPCERTコーディネーションセンター (JPCERT/CC)
公益財団法人金融情報システムセンター (FISC)

顧問

役員

会長	安田 浩 東京電機大学	理事	秋田 健太郎 サイバーソリューションズ株式会社
			大西 新二 株式会社ネクストジェン
副会長	柳澤 隆治 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ		小野 喜代志 NRIセキュアテクノロジーズ株式会社
			加賀山 進 株式会社カスペルスキー
副会長	増田 和彦 KDDI株式会社		鎌田 信夫 株式会社ソリトンシステムズ
			北村 裕司 サイバートラスト株式会社
副会長	伊藤 泰三 シャープ株式会社		木下 剛 シスコシステムズ合同会社
			郷間 佳市郎 株式会社日立情報システムズ
監事	丸山 満彦 デロイト トーマツ リスクサービス株式会社		小屋 晋吾 トレンドマイクロ株式会社
			下村 正洋 特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会
			田中 辰夫 マカフィー株式会社
			中村 俊一 株式会社シーイーシーソリューションズ
			西田 純隆 株式会社インフォセック
			三本 幸司 富士ソフト株式会社
			村上 智 株式会社シマンテック
		事務局長	西本 逸郎 株式会社ラック

体制



3つのWGでスタート:

①利用ガイドラインWG

②体系化WG (利用シチュエーションと要求セキュリティの体系化WG)

③事例研究WG

※ まずは上記3WGでスタートし、会員企業からの要望や世の中の変化に合わせてフレキシブルに対応

利用部会 利用ガイドラインWG

(リーダー/松下綾子、サブ/川村和広)

1. 目的:スマートフォンの利用状況に沿った安全利用のためのガイドラインを策定
2. 活動内容:
 - (1) 法人がスマートフォンを業務利用する際に必要なセキュリティガイドラインを策定する。
 - (2) 事例体系化を経て整理された事実に基づき、ユーザの利用シーンに合わせたガイドラインとする。
 - (3) ガイドラインは、概要に加え、事例体系化から得た分析結果を踏まえて広い用途で実践的に利用できるものをめざす。
3. 成果物:ガイドラインの作成(8月にβ版、10月に第1版を発表)

利用部会 体系化WG (利用シチュエーションと要求セキュリティの体系化WG)

(リーダー/谷本 重和、サブ/西本逸郎)

1. 目的:『スマートフォンの利用状況についての体系化の検討』
2. 活動内容:Smart phones (SP)利用者の分類とその検討を行う。
(ex. 企業のSP利用目的・導入規模・SP市場動向を前提)
 - (1) SPを利用する際、どのような危殆的状況が想定されるかを検討する。
 - (2) 本WGでは、特に、SPユーザの利用シーンを想定・着目し、脅威に至る情報セキュリティの諸問題について取り扱う。
 - (3) 上記(1)と(2)の利用についての、SPセキュリティの体系化を試みる。
3. 成果物:
 - (1)【利用部会報告書】
『利用シチュエーションと要求セキュリティの体系化ワーキンググループ』成果報告書
 - (2)【SPマトリックス】for User
 - SPの利用シーン(ワークフロー、メール、業務システム、自前のウェブなど利用する場合)における内在するリスクや脆弱性を、各セグメントにおいて検討する。
 - 組織が、SPセキュリティ対策を講じるための、汎用的、かつ網羅的なマトリックスを作成する。
 - 技術部会への情報を、ユーザ視点でとらえ提供する。

利用部会 事例研究WG

(リーダー/郷間佳市郎、サブ/貞金佳尚)

1. 目的:導入事例についての調査・研究を実施

2. 活動内容:

(1) 導入企業事例、SI事例、課題解決事例などのケーススタディ

(2) 利用ガイドラインWG、及び体系化WGの成果を現実と比較確認のための事例の収集

3. 成果物:事例講座の開催



日本スマートフォンセキュリティフォーラム 技術部会は、スマートフォンを安全に利用するための技術的な調査・研究・議論・検証を行う部会である。具体的には4ワーキンググループで構成し成果物を公開する事で、日本における企業のスマートフォン利用の安全性向上に寄与する事を目的とする。

【年間計画（概要）】

部会の開催時期

- ・ 定期部会 年二回開催
- ・ その他、必要に応じて開催する

成果物の公開時期

- ・ 脆弱性DBを文書ベースで6月頃から公開
- ・ マルウェアに関する情報提供を7月頃から開始（目標）
- ・ その他の成果物については完成次第公開

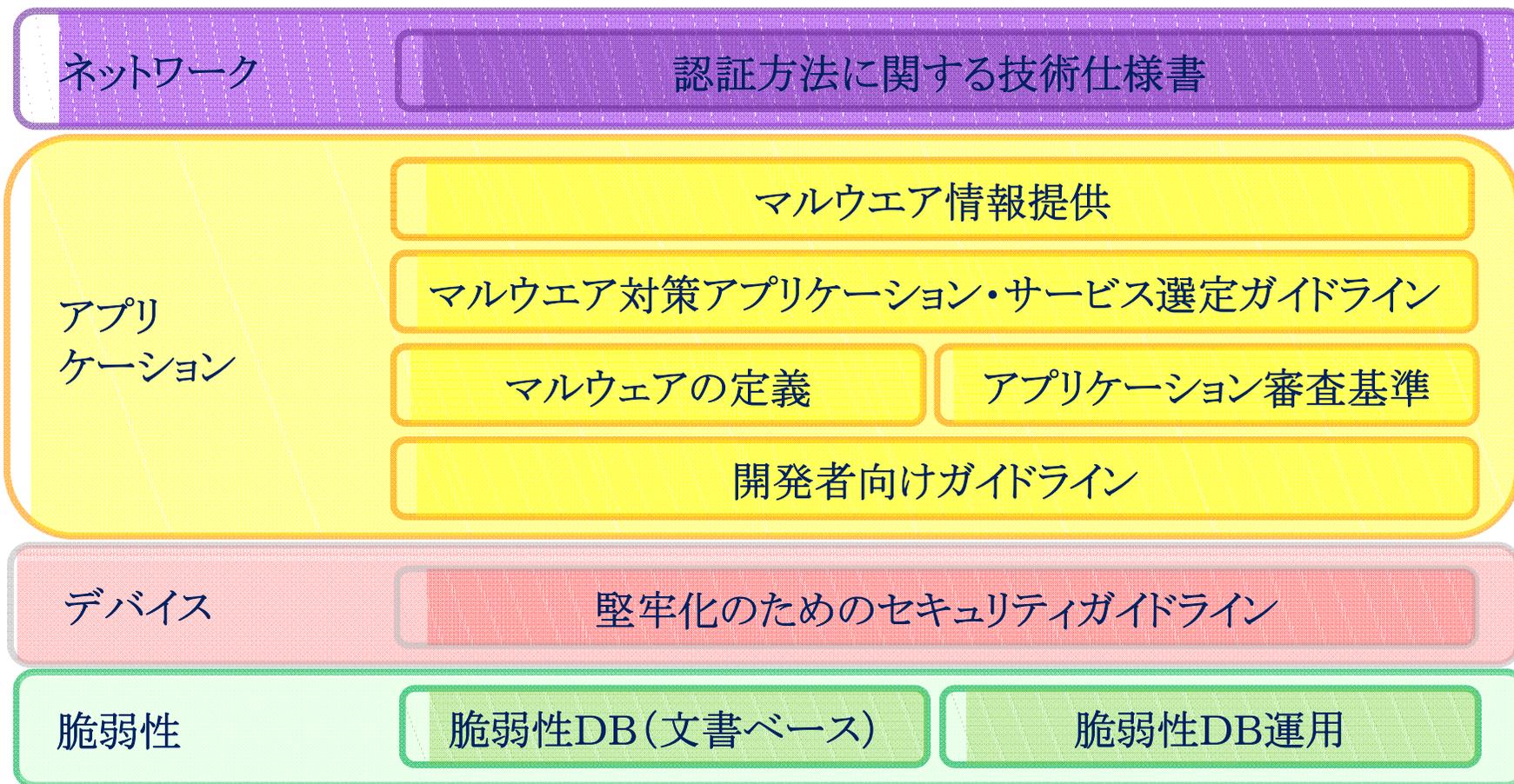


技術部会のWGは、スマートフォンで使用される技術的な変化に対して柔軟に対応できるように、以下に述べる3つのレイヤに分割した。

- ① ネットワーク
- ② アプリケーション
- ③ デバイス

また、特殊な位置付けとして「④脆弱性」のWGも作成し、技術部会は4WG構成で構成する。各WGにはリーダーと複数のサブリーダーを配置し運営を行う。

技術部会 各WGの成果物





目的

スマートフォンのネットワーク観点から、セキュリティ課題の
検討を行うワーキンググループ

リーダー／サブリーダー

リーダー 清水 健(新日本無線)

サブリーダー 相原 弘明(ネットマークス)

課題

認証

目的

端末認証・サービス(アプリケーション)認証として堅牢な認証方法を技術仕様書としてまとめることで、スマートフォンの法人利用における安全性の確保に寄与する。

成果物と提供時期

認証方法に関する技術仕様書

JSSEC発足後開始／終了後提供



目的

スマートフォンのアプリケーション観点から、セキュリティ課題の検討を行うワーキンググループ

リーダー／サブリーダー

リーダー

大輪 引詳(トレンドマイクロ)

サブリーダー

前田 典彦(カスペルスキー)

サブリーダー

竹森 敬祐(KDDI)

課題

マルウェア

マーケット

目的

マルウェア対策技術/対策サービス、マルウェアソーシングなどについての研究・情報交換・検討による成果を元に、セキュアなスマートフォン利用に貢献する事を目的とする。

成果物と提供時期

マルウェア情報の提供(2011年7月頃から)

マルウェア対策アプリケーション選定ガイドライン

JSSEC発足後開始/終了後提供

目的

法人利用における安全なアプリケーションの基準(マルウェアの定義)を明確にする。アプリケーションの安全性に関する審査基準を策定することで、マーケットサイド、利用者サイドが安心して利用できるアプリケーションを明らかにする。

成果物と提供時期

マルウェアの定義

JSSEC発足後開始／終了後提供

【以下については、マルウェアの定義確定後】

アプリケーション審査基準

開発者向けガイドライン



目的

スマートフォンのデバイス観点から、セキュリティ課題の検討
を行うワーキンググループ

リーダー/サブリーダー

リーダー	竹森 敬祐 (KDDI)
サブリーダー	八津川 直伸 (ユニシス)
サブリーダー	岩澤 孝博 (富士ソフト)

課題

端末(デバイス)の堅牢化

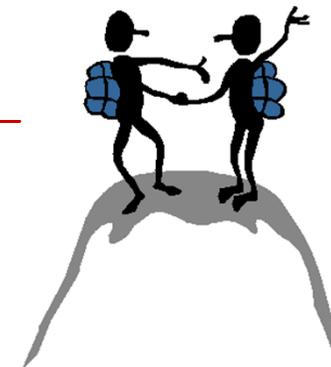
目的

法人利用におけるデバイスのセキュリティ課題を整理する。端末実装、OS機能、セキュリティサービスなど、多方面からデバイスの堅牢化について検討し、デバイスに施すべきセキュリティ対策のガイドライン化を目指す。

果物と提供時期

端末堅牢化のためのセキュリティガイドライン

JSSEC発足後開始／終了後提供



目的

スマートフォンにおける脆弱性について情報を収集し、データベース化することで、日本におけるスマートフォン脆弱性情報・対策情報の集約基地として機能する事を目指す。

リーダー/サブリーダー

リーダー

えんどう やすゆき

(Androidセキュリティ部)

サブリーダー

岩澤 孝博(富士ソフト)

サブリーダー

谷田部 茂(シスコシステムズ)

課題

脆弱性データベース

目的

スマートフォンにおける脆弱性について情報を収集し、データベース化することで、日本におけるスマートフォン脆弱性情報・対策情報の集約基地として機能する事を目指す。

課題

脆弱性データベース

文書版:2011年6月頃～を予定:DB構築まで

脆弱性データベースの公開

構築後提供開始

各部会の活動を広報し、イベントを企画運営（他団体との協業を含む）、メディアとのリレーションを行う。また、こういった活動を通じて、利用部会、技術部会にフィードバックし、活動のさらなる促進を目指す。

① 広報

小林(SONY)、尾崎

ホームページ、メルマガ、FB、ツイッターなど

② イベント

小林(KDDI)、岩下、菅野(企画・情報共有)

秋の成果発表会

③ メディア

田淵、石川(社団法人セキュリティ相談センター)

PR 投げ込み、取材、執筆とりまとめ、講演依頼

普及啓発部会 イベント案

①成果発表会

10月目処。6月までに、案を策定。雑誌社などと共催も考えられる。

②シンポジウム

10月位(秋)から準備をする。2月の情報セキュリティ月間に合わせて実施。

③アンドロイド・アプリ・コンテスト

セキュリティ部門を創設しては？日経BPさんと詳細を詰める。

④地方のセキュリティシンポジウムへの後援、若しくは共催

秋の湯沢や春の白浜のイメージで、開催を考えている団体と模索したい。

⑤ワークショップ

時事(事件、事象、トレンド、政策など)ワークショップ開催

⑥総会、記念講演会

来年度の企画運営

ありがとうございました。

日本スマートフォンセキュリティフォーラム事務局

〒105-0003 東京都港区西新橋1-22-12 JCビル3F
NPO 日本ネットワークセキュリティ協会 内
TEL 03-6273-3905 FAX 03-3519-6441

E-Mail : sec@jssec.org
URL : <http://www.jssec.org/>
Facebook : <https://www.facebook.com/JSSEC>
Twitter : [@jssec_org](https://twitter.com/jssec_org)